

第29回熊本市景観審議会議事録（要旨）

日時 令和2年(2020年)11月30日(月)午後2時30分から午後4時30分

場所 熊本市国際交流会館 3階 国際会議室

出席者

(委員) 田中会長、原田委員、柴田委員、鄭委員、星野委員、川口委員、
木下委員、丸山委員、宮崎委員、古賀委員、藤原委員、二宮委員

(事業者) 株式会社NTT西日本アセット・プランニング

(事務局) 能勢総括審議員、粟田副課長、村上主幹、木村参事、荒木主任技師、
川上主任主事、中野技師、小山主事

【議題】

[諮問]

1. (仮称) NTT 西日本 AP 新桜町ビル新築計画について

[報告]

2. 専門委員会の開催状況について
3. 公共サインガイドライン（素案）について

【概要】

1. (仮称) NTT 西日本 AP 新桜町ビル新築計画について

事務局より総合設計制度について説明後、事業者より「(仮称) NTT 西日本 AP 新桜町ビル新築計画について」の説明。審議会委員より事業者への質問後、審議を行った。(審議の際、事業者は退出)

■景観審議会として得た結論は次のとおり

(仮称) NTT 西日本 AP 新桜町ビル新築計画については、総合的に判断して良好な景観形成に支障はないと認められる。

ただし、次の点については考慮願いたい。

- ・中層屋上テラスについては、高さや見え方等について桜町地区再開発施設の屋上庭園との関係を確認すると共に、しつらえ方について検討をいただきたい。
- ・低層部を中心に桜町地区再開発施設との調和や連続性に配慮をいただきたい。
- ・北側道路からの見え方について、既存立体駐車場のボリュームを緩和する中高木の樹木を検討するなど、全体的な調和を図っていただきたい。
- ・中層部テラスの緑化は、硬直化したものではなく、天然木の生き生きとした表情が変化を持ちつつ連続するような配慮をいただきたい。
- ・地上部、特に北東部の角の部分にも街の顔となるような効果的な高木などを配置するとともに、日陰を作り出すような緑化計画をご検討いただきたい。
- ・中層のオフィスの光が建物全体やシンボルプロムナードと調和する色温度にする等、照明計画に配慮いただきたい。
- ・軒天のアルミパネルが、光の反射も含めて過度な見え方をしないように配慮願いたい。
- ・外装について、色・素材の一体感、周辺景観との連続性を図っていただきたい。

- ・サイン計画は取り付け方が目立ったものにならないように配慮願いたい。

2. 専門委員会の開催状況について

事務局から報告を行い、特に意見はなかった。

3. 公共サインガイドライン（素案）について

事務局より公共サインガイドライン（素案）について説明を行った。

■ 景観審議会の意見は以下の通り。

- ・視覚障がい者の方々への配慮についても検討していただきたい。
- ・夜間利用するものは照度を確保する等インフォメーションのマークが視認できるような配置になるよう配慮いただきたい。
- ・サインの乱立を防ぎ集約化をするためにも、所管の枠を超えてサインの計画をチェックできるような仕組みを検討いただきたい。